

教員についての基本情報

教員名	西村 幸高 講師 (Nishimura Yukitaka)
担当教科と分野	音楽 器楽 (ピアノ)
研究分野	ピアノ演奏学, ピアノ教育, リベラル・アーツ
担当授業	スタートアップ音楽, ピアノ IA・II B, ピアノ特講 I・II, 卒業研究, 音楽科実践研究, 音楽科教育法 D, 授業デザイン演習, など



授業についての一言 スタートアップ音楽では、「なぜ音楽を学ぶ必要があるのか」についてリベラル・アーツの観点から考えていきます。またピアノ実技科目においては、単に演奏を行うのではなく、作曲者の歴史、作品の背景を学び、教育現場でどのように生かすことができるのか、自身の解釈を理論的に説明できる力を学んでいきます。

研究室ホームページ

研究の内容

主な研究は、ピアノの音色や奏法、教授法と音楽を幅広く社会と結びつけるリベラル・アーツについてです。

これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

以下は卒業研究の一例です。

- ・ M. ラヴェル「水の戯れ」における作曲技法と演奏法
- ・ F. P. シューベルト「ピアノソナタ イ長調 D. 664」より第1楽章、第3楽章における解釈と演奏法
- ・ C. A. ドビュッシー「版画 Estampes」より第1曲「塔 Pagodes」における解釈と演奏法～ガムラン音楽との繋がりとドビュッシーの作曲技法を踏まえて～
- ・ 楽曲の歌詞の変容に焦点を当てて～j-popの歌詞を分析して～
- ・ 小学校音楽科における鑑賞教材での思考力向上について～作品解釈の違いに焦点を当てて～
- ・ 生きる力を育成する音楽による情動へのアプローチ方法の一考察～子どもたちの持つ「生きづらさ」の緩和に焦点を当てて～
- ・ 絵本と音楽の融合～ピロドのうさぎに焦点を当てて～
- ・ F. ショパン《ピアノソナタ第2番 変口短調 op. 35「葬送」》より第1楽章における解釈と演奏法
- ・ L. V. ベートーヴェン《ピアノソナタ第23番 へ短調 op. 57「熱情」》における解釈と演奏法
- ・ F. P. シューベルト《ピアノソナタ第16番 イ短調 D. 845》より第1楽章における解釈と演奏法～シューベルトの歌曲作品との関連性を踏まえて～ など

研究のキーワード

ピアノ演奏, ピアノ教育, リベラル・アーツ, ドイツ音楽, フランス音楽, など

研究室の様子

研究室ではゼミ生として、音楽教育専修の学生と子ども教育開発専修の学生が在籍しており、それぞれの目標に向かって興味のある研究活動を励んでいます。演奏実技で卒業する場合、楽曲分析、演奏解釈も行い、自身の言葉で奏法についてまとめていきます。また音楽を教養の観点からも見つめ、音楽の意義、音楽を社会に役立てる可能性について探求していきます。